

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|---|------|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 70% | 30% | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 60% | 40% | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 100% | | | 段差解消を行っており、車椅子のまま利用しやすい設備となっている |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 70% | 30% | | 計画→行動→検証→改善を目的とし支援会議を開催している |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 100% | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 100% | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 10% | 30% | 60% | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 60% | 30% | 10% | 年間計画に沿って実施している |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 60% | 30% | 10% | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 60% | 30% | 10% | 使用していない。横地分類や発達検査結果・外来訓練での発達状況等を周知し参考にしている |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 100% | | | 会議を開いて立案している |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 100% | | | 他職種(保育士・療育員・看護師・理学療法士・児発菅・医師等)からの意見を聞き工夫している |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 50% | 50% | | 月の療育予定表を作成し多機能型としてのレクを主としている。放課後時間においては個別の取り組みを実施している |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 80% | 20% | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 70% | 30% | | 前日に日案を立て、全職員での内容周知は当日朝礼時、確認している |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 100% | | | 支援終了後は、送迎業務を担う職員が多く、その他の職員で個別記録にて振り返りを記入している |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|------|-----|-----|--------------------------------------|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 100% | | | 半年毎の見直し作成を行い、保護者への確認を実施 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 40% | 60% | | 内容判断できず |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100% | | | 一番よく知る個人担当が出席している |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 100% | | | 適切に行えている |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 100% | | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 100% | | | 情報の共有と相互理解に努めている |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 100% | | | 適宜実施している |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 20% | 80% | | 水俣地域の他センターでの研修に、自主的に参加していたが、コロナで不参加 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 20% | 80% | 必要と判断した時には実施している |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 20% | 60% | 20% | 代表者による地域振興局等での部会に参加している |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | | | 日頃から機会を作っている |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 20% | 60% | 20% | 個別の相談には都度応じている(手技等) |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 60% | 40% | | 契約時に説明を行っている |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 80% | | 20% | 適宜行っている |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 80% | | 20% | 以前から開催しているが令和2年度は、コロナ感染予防として全ての行事を中止 |

| | | | | | | | |
|----|---------|---|--|------|-----|---|---|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 100% | | | 報告し、センター全体で把握できるようシステム作りをしている | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 100% | | | 年に4回、季刊誌を発行している | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 100% | | | 必要と思われる事項については、事業所間での正確な情報共有を目的に連携を図る事がある | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100% | | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 60% | 20% | 20% | 今年度は、コロナウィルス感染予防で交流を行っていない | |
| | 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 100% | | | 策定し、周知している |
| | | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 100% | | | 年に1回避難訓練を療育の中で実施しているが、周知が不十分であったと反省している |
| 40 | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100% | | | 施設全体勉強会として年間計画に盛り込まれる年度がある | |
| 41 | | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 100% | | | 安全面を主にする旨、計画書に記載しサインをもらっている | |
| 42 | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 100% | | | | |
| 43 | | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 100% | | | 終礼時に報告し記載している。令和元年度の症例として部署で取り組みまとめた | |